【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-33272(P2006-33272A)
【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-005
【出願番号】特願2004-207450(P2004-207450)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/06　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　12/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/06　３０１Ｙ
Ｇ０６Ｆ　12/00　５１１Ｃ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　5/76　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月15日(2007.6.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像出力装置に画像記録媒体を接続し、
前記画像出力装置において、当該画像出力装置が対応可能な画像形式を示す情報ファイルを前記画像記録媒体に記録し、
前記画像記録媒体を画像入力装置に接続し、
前記画像入力装置において、前記画像記録媒体に記録される情報ファイルにしたがって前記画像出力装置が対応可能な画像形式で画像データを前記画像記録媒体に記録し、
前記画像記録媒体を前記画像出力装置に接続し、
前記画像出力装置において、前記画像記録媒体に記録される画像データを読み出し出力する
ことを特徴とする画像転送方法。
【請求項２】
画像データを記録する着脱可能な画像記録媒体を接続可能な画像入力装置であって、
前記画像記録媒体に記録された画像データを利用する画像出力装置が対応可能な画像形式を示す情報ファイルを前記画像記録媒体から読み取る読取り手段と、
前記読取り手段によって読み取られた情報ファイルによって示される画像形式にしたがって変換された画像データを前記画像記録媒体に記録する記録手段
とを具備することを特徴とする画像入力装置。
【請求項３】
前記読取り手段は、前記画像記録媒体の予め定められたフォルダ内に記録されている情報ファイルを読取ることを特徴とする請求項２に記載の画像入力装置。

【請求項４】
前記読取り手段は、前記画像記録媒体に記録されている複数の画像出力装置によって記録された複数の情報ファイルのうち、最新の情報ファイルを読取ることを特徴とする請求項２または３に記載の画像入力装置。
【請求項５】
複数の圧縮フォーマットに対応した画像処理手段をさらに備え、
前記画像処理手段は前記読取り手段によって読み取られた情報ファイルによって示される圧縮フォーマットにしたがった画像圧縮を行い、前記記録手段は前記画像処理手段によって圧縮された画像データを前記画像記録媒体に記録することを特徴とする請求項２乃至４の何れか１項に記載の画像入力装置。
【請求項６】
前記情報ファイルには、前記画像出力装置が対応可能な圧縮フォーマットを示す情報、画像サイズを示す情報、及び、バッファサイズを示す情報の何れか１つ以上の情報が記述されることを特徴とする請求項２乃至５の何れか１項に記載の画像入力装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像転送方法及び画像入力装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、着脱可能な画像記録媒体を介して画像入力装置から画像出力装置に画像データを転送する方法及び画像入力装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明は、このような不都合を解消する画像転送方法及び画像入力装置を提示することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明に係る画像転送方法は、画像出力装置に画像記録媒体を接続し、前記画像出力装置において、当該画像出力装置が対応可能な画像形式を示す情報ファイルを前記画像記録媒体に記録し、前記画像記録媒体を画像入力装置に接続し、前記画像入力装置において、前記画像記録媒体に記録される情報ファイルにしたがって前記画像出力装置が対応可能な画像形式で画像データを前記画像記録媒体に記録し、前記画像記録媒体を前記画像出力装置に接続し、前記画像出力装置において、前記画像記録媒体に記録される画像データを読み出し出力することを特徴とする。
【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明に係る画像入力装置は、画像データを記録する着脱可能な画像記録媒体を接続可能な画像入力装置であって、前記画像記録媒体に記録された画像データを利用する画像出力装置が対応可能な画像形式を示す情報ファイルを前記画像記録媒体から読み取る読取り手段と、
前記読取り手段によって読み取られた情報ファイルによって示される画像形式にしたがって変換された画像データを前記画像記録媒体に記録する記録手段とを具備することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
２０９はカードインターフェースであり、２１０はメモリカードである。メモリカード２１０は、カードインターフェース２０９を介してカムコーダ１０１の各部とデータをやり取りする。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
図５は、メモリカード１０２上でのプロファイルの保存場所を示す。ルートフォルダ５０１はメモリカード１０２上に１つあり、最上位階層に位置する。５０２は、各種画像ファイルを収めるフォルダである。この下に、例えば、静止画像データ５０３，５０４，５

０５が保存される。図の例では、静止画像データを保存するフォルダとしているが、出力機器によっては、動画像データ用のフォルダが作成される場合がある。ルートフォルダ５０１内に、プロファイル５０６が一つだけ収容される。プロファイル５０６が存在する位置をルートフォルダ５０１の直下と決めておくことで、プロファイル５０６の有無を容易に識別でき、参照と変更が容易になる。また、予め定めた別の位置にプロファイル５０６を収容しても良い。

【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】

図１０は、テレビ９０３の概略構成ブロック図を示す。１００１はカードインターフェースであり、１００２はメモリカードである。メモリカード１００２は、カードインターフェース１００１を介して、テレビ９０３の各部とデータをやり取りする。画像処理部１００３は、圧縮画像データの伸長、ここではＭＰＥＧ２の伸長処理等の処理を行う。本実施例では、各画像出力装置９０３，９０４，９０５は、少なくとも１つの伸長処理に対応していれば良い。チューナ１００４は、放送を受信して画像データに変換し、各部に出力する。ＣＰＵ１００５は、テレビ９０３の全体処理を制御する。ＲＡＭ１００６は、画像データ等の一時保存に使用される。ディスプレイ１００７は、画像を表示する。テレビ９０３は、通常は、チューナ１００４で受信した放送の画像をディスプレイ１００７に表示し、その一方で、メモリカード１００２に記録された圧縮画像データを伸長し、ディププレイ１００７に表示する能力を具備する。